

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

11

Vol.5



ロータリー
特別月間
11月

ロータリー
財団月間

RI第2650地区基本方針

未来へつなぐ





国際ロータリー第2650地区
2025-26年度ガバナー

未来へつなぐ

小 崎 学 (京都北ロータリークラブ)

私の年度も 4 ヶ月が過ぎ、公式訪問・インターシティーミーティングもこの月中に終える予定となっております。10 月 8 日には京都ロータリークラブ創立 100 周年記念式典・祝宴に出席させていただきました。日本で 5 番目に設立されたクラブであり、我々第 2650 地区のマザークラブとしてお導きいただき、国内外に誇れる多くの卓越した指導者を輩出してられました。当日は、「今を未来へ『躍進、行動しよう!』」をテーマに 100 年の歴史を振り返り、次の 100 年に向けて確かな一歩を踏み出された姿を拝見し、感銘を受けた次第です。

11 月は皆様もご存じのとおり、財団月間です。こちらも 100 年を超える歴史の中で、「ロータリー財団の父」として知られるアーチ・C・克蘭フの提案により、ロータリーの基金が生まれました。1928 年に正式に「ロータリー財団」と改称され、管理委員会が設立されました。克蘭フは初代管理委員長として 1928 年から 1935 年まで務め、委員長を退いた後もロータリーのリーダーや会員に財団の重要性を説き、寄付を奨励し続けました。克蘭フは 1951 年 6 月 3 日に 82 歳でこの世を去りましたが、その影響は財団を通じて今も息づいています。

そして現在、ロータリー財団の使命は、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を促進することです。これらを具体的な目標としたのが「7 つの重点分野」です。すなわち、①平和構築と紛争予防、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率の向上、⑥地域社会の経済発展、⑦環境であります。日本では、どの分野も国や自治体に取り組むことがほとんどですが、発展途上国においては国家がその責務を果たせないのも現実です。私は建設業に携わっており、インフラ整備の重要性は十分認識しておりますが、日常生活において私たち国民は、水が当たり前で飲めること、スイッチを押せば電気がつくことを当然のように感じて生活しています。しかし、災害が起きたときにこそ、その有難さを痛感するものです。

私は若い頃、青年会議所に所属し、幸いにも機会に恵まれ、多くの発展途上国を訪問することができました。その訪問先で、日本での何気ない日常生活の有難さを強く感じましたが、帰国後数日が経つと、その経験をすっかり忘れ、いつもの生活に戻ってしまいました。しかし、ロータリークラブに入会してからは、財団が身近な存在となり、訪問先の景色を思い浮かべながら、「まずは寄付をしよう」「何かプロジェクトができないか」と考えるようになりました。これは間違いなく、ロータリークラブに入会させていただいたおかげであり、私にとっての大きな気づきであります。



今年度の地区ロータリー財団委員会のテーマは、「財団の仕組みを理解し、活用していただくこと」です。皆様からお預かりした大切なご寄付がどのように使われているかを知っていただき、積極的に活用いただくことが、ロータリー財団の最大の目的です。

以下に、各委員会の活動をご紹介します。

1. 地区補助金委員会

会員の皆様にとって最も身近な委員会かもしれません。8月の財団セミナー、1月の補助金管理セミナーを経て、各クラブからの申請をロータリー財団の交付条件に基づき、希望に沿った補助金が授与されるようサポートしています。

毎年80クラブもの申請をサポートするため大変な作業ですが、各クラブの奉仕事業が成功することを願って、一つひとつ丁寧に検討を重ねています。

2. 財団資金管理委員会

ご寄付いただいた大切な浄財を適切に管理するため、資金管理委員会では、地区補助金が適正に使用されているかを厳格に審査しています。

今年度は、地区内96クラブのうち79クラブに補助金が交付されました。私たちは、一つひとつの奉仕活動の領収書を丁寧に確認しています。「厳しすぎる」と感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、ご寄付くださった皆様の立場に立てば、1円たりとも無駄にすることはできません。

3. 財団資金推進・大口寄付委員会

「世界で良いことをしよう」というロータリーの理念を実現するための第一歩が、皆様からのご寄付です。当地区では、会員お一人につき年間180米ドル（約27,000円）以上のご寄付をお願いしています。

このご寄付は、3年後に半分近くが地区補助金として戻ってきます。その資金を、多くのクラブが奉仕活動に活用できるのです。年間約27,000円、1日あたり約75円のご負担で、世界に貢献することができます。

今年度は、年間1,000米ドル（約15万円）以上の寄付を約束する「ポールハリス・ソサエティ（PHS）」に、より多くの方々に加入していただきたいと考えています。毎月13,000円をクレジットカードで自動引き落としに設定すれば、毎年PHSを継続できます。少しの節約で、世界のために良いことができるのです。

4. グローバル補助金委員会

「グローバル補助金は難しい」という声をよく耳にします。しかし、大切なのは「世界で良いことをしよう」という視点を持つことです。海外旅行や姉妹クラブとの交流の中に、活動のヒントが隠されているかもしれません。困っている人を見つければ、必ずアイデアは生まれます。ぜひ積極的に探してみてください。

5. 財団奨学金・平和フェローシップ委員会

日本の学生や研究者を対象とした素晴らしい奨学金制度があることをご存じでしょうか。

ロータリー財団は、7つの重点分野における研究や活動、海外の大学院での学習を支援しています。

悲しいことに、この制度はまだ広く知られていません。私たちの目標は、かつて奨学生であった緒方貞子氏や中満泉氏に続く、国際的に活躍できる人材を育てることです。

6. ポリオプラス・ロータリーカード委員会

2000年、当地区はWHO西太平洋地域事務局と協力し、西太平洋地域のポリオを根絶しました。しかし、パキスタンとアフガニスタンにはまだ野生株が残っています。

パキスタンでは、5歳未満の子ども2,400万人に対し、35万人ものポリオワーカーが24時間体制でワクチンを投与しています。治安の悪い地域もあり、多大な費用と労力が必要です。

ロータリーは、「ポリオ根絶」という、世界中の子ども達との約束を果たすために活動を続けています。

以上、各委員会の活動についてご紹介しました。ご質問がありましたら、お気軽にお近くの地区委員にお尋ねください。



ミャンマーポリオミッションの帰り、日本人墓地にて（2000年）（SEARO）



フィジー、レプカ島でポリオワクチン投与（2009年）



パキスタン、カラチ中央駅でポリオワクチン投与（2024年）

地区ロータリー財団委員長 松原 六郎（福井フェニックスRC）

2025 年 8 月 3 日～ 7 日 4 泊 5 日
北海道



今年度の夏期研修は「未来を考えよう」をテーマに、インターアクター（以下「IA」という。）顧問の先生および地区委員の総勢 43 名が参加し、北の大地「北海道」で様々な分野で活躍されている方々から多くの学びを聞知、体験しました。

結団式では、田村委員長から「知識を得たら知恵を出して」という言葉に理解しつつも初対面なのでどことなく固かった IA もその後すぐに打ち解け、SNS を通じて事前交流をしていたように小松、伊丹から合流した新千歳空港では IA 全員が澁漑として笑顔あふれる姿を見て、引率同行した私達 IA 委員もこれは楽しく有意義な夏期研修になるゾ！と予感。

案の定、今回の研修は盛りだくさんではありましたが、多くの知識を得、発表会では素晴らしい知恵を出したものとなりました。

1 内容は以下のとおりです。

① 植松努氏・講演とロケット打ち上げ体験

「どうせ無理」という言葉をなくし、何事にも挑戦する心を持つことの大切さを学ぶとともにロケット打ち上げ体験では、生徒たちが自ら作ったロケットが天高く空に飛んでいく喜びを体感し、挑戦する素晴らしさを実感。



② 旭山動物園・板東元統括園長の講演と旭山動物園見学

当動物を V 字回復させたその裏には命や自然と真正面から向き合い、「行動展示」を通じて動物園として創意工夫をはじめ自然環境保護を訴えるその情熱には IA の心に強く響いた模様。

③ 「歌志内市・柴田一孔市長」の講話

サプライズで柴田市長が宿泊所に来られ、石炭産業の衰退により人口減をとり現在日本一人口の少ない市となっているが、観光産業に生き残りをかけるべく活性化プランを熱く語られ、行政への関心も IA の心に芽生えたような？！



④ ウポポイ（民族共生象徴空間）でアイヌの歴史を学び敷地内見学

ウポポイでは、先住民族であるアイヌについて担当者から見聞し、舞踊や工芸、展示を通して、歴史や伝統に触れ、IAは「文化の多様性を尊重することの大切さ」を学び、この体験をきっかけに「異なる文化を理解し、認め合いながら共に生きる社会」ことこそが多文化共生の姿であると理解。



⑤ 第2510地区札幌龍谷学園高等学校 IAC との交流

夕食を共にした後、ゲームで仲良くなり、翌日からは同学園の計らいで奉仕活動の取り組みを共有し、お互い刺激し合う場となり友情やネットワークを広げる良い機会となりました。



⑥ グループ発表

本研修を通じて今回得た知識を班ごとに整理しまとめ、最終日に発表しましたがいずれの班も知恵を出して若者らしい発表となり委員全員、所期の目的は十分に果たされたものと自負。



2 引率者としての感想と今後に向けて

今回の研修を通じて特に印象的だったのは、「アイヌ文化から多文化共生社会を考える」という流れで、IA たちは、異なる文化に触れることで「違い」を受け入れる大切さを学びましたが、これは国際理解や奉仕活動を進めるうえで欠かせない視点であり、今回の研修で得た最も大きな成果の一つだと感じます。

また、ロケット打ち上げや動物園での学びなど、多様な体験を通じて「知識を得る → 知恵として使う → 仲間と共有する」という成長のサイクルを体感し、間近でその変化を見られたことは引率者冥利に尽きます。

今回の研修で培った挑戦する心、命や自然を尊重する姿勢と多文化共生の理解を、また他地区IAとの交流を通じて今後のインターアクト活動の中で生かしてくれることを期待しています。

地区インターアクト委員会としても引き続き、IAが多様性を理解し、奉仕の心を広げていけるよう支えていきたいとの思いを強く思った研修となりました。

今後とも多くの皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

地区インターアクト委員 飛田 幸平（福井北RC）

各クラブ担当者にインターアクト夏期研修報告書をお渡ししております。
是非ともクラブ内でご回覧ください。

2025 年 9 月 21 日

びわ湖大津プリンスホテル

「未来への贈り物」

2024 年 8 月 6 日、インターシティミーティングの準備委員会を立上げ、開催日、2025 年 9 月 21 日まで計 412 日間。大津ロータリークラブとして、21 年ぶりの「IMホスト」でありました。



滋賀県知事 三日月 大造様、大津市長 佐藤 健司様よりご祝辞を賜り、小崎 学ガバナーをはじめ、地区役員の皆様方のご臨席を仰ぎ、滋賀県下全域から計 530 名のロータリアンのご参加を賜り、尾賀 康裕ゼネラルリーダーご指導の下、無事に終えることができました。

琵琶湖のほitori風光明媚な滋賀は、長い歴史にはぐくまれた豊かな文化資産に恵まれた地域であります。

多くの社寺や年中行事、旧東海道、中山道や北国街道など、各街道のまちなみ、舟運の拠点、大津港、今津港や、長浜港、そして、大津祭を代表とする様々な、各地のお祭り、中世、近世の城跡、さらに古代の大津京、そして滋賀、淡海を詠んだ数多くの和歌や俳句、近江八景、琵琶湖八景など、歴史的・文化的資源の多様さ、質の高さは私たちの誇りであります。

他方、社会貢献、持続性を重んじる「三方よし」の概念を世界に広めた近江商人は、地域経済の担い手でもあり、日本の文化・芸術そして経済に貢献してきた永年にわたる誇るべき湖国文化であります。

「歴史と伝統—受け継ぐ智慧と志—」の想いのもと、(公社)日本観光振興協会総合研究所顧問 丁野 朗様に講師をお願いし、パネラーには、大本山石山寺 第五十三世 座主 鷲尾 龍華様、文化・経済フォーラム滋賀 代表幹事 山中 隆様、地域文化コーディネーター 通称 観音ガール 對馬 佳菜子様、そして、大津ロータリークラブ 高橋 祥二郎会長による素晴らしい記念事業となりました。



この先々も「歴史と伝統」に想いを馳せ、先人の智慧と志に改めて学びを深め、ロータリアンとしての志を胸に、小崎 学ガバナーの地区基本方針「未来へつなぐ」、そして、記念事業で学ばせて頂いた「未来への贈り物」として、日々の営みに励み、そんな充実したロータリーライフを皆様と共に、楽しみながら歩んでいけることを、心より祈念致しております。

湖国に集うロータリアンが一堂に会して、懇親会では、オープニングに、雅な「雅楽」でお出迎えし、友情と絆を深めるべく、大津ロータリークラブメンバー全員が、「おもてなし」の心で、ご奉仕させて頂きました。

滋賀のロータリアンの友情に心より感謝し、ご参加賜りました皆様に、御礼申し上げます。

IM第1組 実行委員長 山本 勝義 (大津RC)



2025 年 8 月会員数の増減および出席率表

京都府(42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
綾部	25	0	0	25	25	0	0	90.90
福知山	43	0	0	43	42	1	0	79.59
福知山西南	50	0	0	50	49	1	0	93.11
亀岡	32	0	0	32	31	1	0	100.00
亀岡中央	13	0	0	13	13	0	0	65.38
京丹後	23	0	0	23	22	1	0	90.00
京都	197	4	1	200	193	9	2	99.28
京都伏見	90	1	0	91	88	3	0	85.61
京都平安	18	0	0	18	18	0	0	91.60
京都東	87	1	0	88	86	2	0	91.06
京都東山	50	0	0	50	52	0	2	75.00
京都北東	17	0	0	17	17	0	0	75.08
京都イブニング	13	0	0	13	12	1	0	74.99
京都城陽	27	0	0	27	27	0	0	82.77
京都桂川	37	0	0	37	35	2	0	89.22
京都北	60	0	0	60	56	5	1	92.53
京都南	254	0	2	252	252	3	3	72.83
京都モーニング	42	0	0	42	39	3	0	83.62
京都紫野	40	0	0	40	37	3	0	79.00
京都中	35	0	0	35	35	0	0	89.68
京都西	96	0	0	96	94	3	1	100.00
京都乙訓	34	0	0	34	32	2	0	89.14
京都洛中	73	0	0	73	73	0	0	100.00
京都洛北	75	0	0	75	73	2	0	100.00
京都洛南	27	0	0	27	27	0	0	88.89
京都洛西	52	0	0	52	51	1	0	80.04
京都洛東	38	0	0	38	38	0	0	85.96
京都嵯峨野	20	0	0	20	20	0	0	80.51
京都さくら	34	0	0	34	30	4	0	77.81
京都西北	22	0	0	22	21	1	0	86.64
京都西南	49	0	0	49	48	1	0	83.69
京都紫竹	24	0	0	24	23	1	0	89.58
京都朱雀	43	0	0	43	42	2	1	88.93
京都田辺	15	0	0	15	15	0	0	95.84
京都山城	12	0	0	12	12	0	0	75.76
京都八幡	15	0	0	15	15	0	0	84.85
舞鶴	28	0	0	28	28	0	0	82.15
舞鶴東	32	0	0	32	32	0	0	85.64
宮津	22	0	0	22	21	2	1	85.88
園部	22	0	0	22	20	2	0	95.45
宇治	29	2	1	30	29	2	1	85.95
宇治鳳凰	31	0	0	31	31	0	0	79.56
小計	1,946	8	4	1,950	1,904	58	12	

奈良県(14クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
あすか	45	0	0	45	45	0	0	89.49
五條	19	0	0	19	19	0	0	84.20
平城京	11	0	0	11	7	4	0	81.82
橿原	49	0	0	49	49	1	1	75.08
奈良	139	0	0	139	132	8	1	90.69
奈良中央	20	0	0	20	20	0	0	57.50
奈良東	22	0	0	22	19	3	0	86.53
奈良西	20	0	0	20	20	0	0	66.66
奈良大宮	64	0	0	64	64	0	0	100.00
桜井	9	2	0	11	9	2	0	78.78
大和郡山	40	0	0	40	40	0	0	87.60
やまとまほろば	22	1	0	23	22	1	0	97.10
やまと西和	26	0	0	26	26	0	0	83.72
大和高田	88	0	0	88	87	1	0	93.30
小計	574	3	0	577	559	20	2	

滋賀県(21クラブ+1衛星)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
びわ湖八幡	93	0	1	92	92	2	2	0.77
(びわ湖八幡フォロー ローター-サテライト)				(28)		(2)		
五個荘能登川	32	0	0	32	31	1	0	85.76
東近江	40	0	0	40	40	0	0	81.04
彦根	46	0	1	45	46	0	1	73.12
彦根南	54	0	1	53	54	0	1	76.76
甲賀	35	0	0	35	32	3	0	76.61
湖南	43	0	0	43	41	2	0	93.66
草津	32	1	0	33	31	2	0	81.81
守山	46	0	0	46	44	2	0	92.66
長浜	56	1	0	57	54	3	0	88.53
長浜東	58	0	0	58	58	0	0	87.08
長浜北	29	1	0	30	29	3	2	62.34
近江八幡	38	0	0	38	37	1	0	90.74
大津	114	2	0	116	114	2	0	100.00
大津中央	21	0	0	21	21	0	0	66.66
大津東	19	0	0	19	18	1	0	71.05
大津西	19	1	0	20	19	1	0	86.11
栗東	60	0	0	60	59	1	0	79.66
高島	52	0	0	52	51	1	0	100.00
野洲	34	0	0	34	31	3	0	95.10
八日市南	47	0	0	47	47	0	0	87.40
小計	968	6	3	971	949	28	6	

福井県(18クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
福井	135	0	0	135	126	9	0	81.57
福井あじさい	51	0	0	51	51	0	0	62.75
福井フェニックス	49	0	0	49	46	3	0	79.59
福井東	47	1	0	48	46	2	0	79.11
福井北	103	0	1	102	102	1	1	70.00
福井南	24	0	0	24	23	1	0	61.46
福井西	22	0	0	22	22	0	0	87.33
福井水仙	22	0	0	22	22	0	1	71.21
勝山	23	0	0	23	22	1	0	73.13
丸岡	28	0	0	28	27	1	0	71.91
三国	17	0	0	17	17	0	0	94.00
大野	40	0	0	40	39	2	1	80.21
鯖江	34	0	1	33	34	0	1	66.66
武生	43	1	0	44	43	1	0	73.54
武生府中	23	0	0	23	23	0	0	84.05
敦賀	24	1	0	25	23	2	0	76.67
敦賀西	13	0	0	13	13	0	0	84.62
若狭	15	0	0	15	12	3	0	88.89
小計	713	3	2	714	691	26	4	

Eクラブ(1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
日本ロータリー Eクラブ 2650	25	0	0	25	25	0	0	
小計	25	0	0	25	25	0	0	

合計(96クラブ+1衛星)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計
合計	4,226	20	9	4,237	4,128	132	24

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、8月会員数および入退会者累計数は8月末現在です。
- ・「期首会員数」は、2025年6月末会員数より、7月1日退会者1名を引いた数です。
「退会累計」は、7月1日退会者1名も含んでおります。
- ・ロータリー衛星クラブ（サテライトクラブ）の入退会者数はスポンサークラブに含んでおります。

巡り歩き 歳時記

醍醐寺「紅葉と特別公開」

京都

華やかな京の秋を楽しむ ～醍醐寺 紅葉と特別公開～

秋の京都は紅葉盛りで艶やかな季節。大混雑する市街地を避け、山科・醍醐方面へ少し足を延ばして、落ち着いた紅葉散策はいかがでしょう。

世界文化遺産・醍醐寺は、豊臣秀吉が愛した桜の名所として有名ですが、秋もまた格別です。弁天池を囲む「林泉(りんせん)」の木々が色づき、朱塗りの弁天堂と紅葉が水面に映し出される景色は、まさに天下人が見たかった絶景です。

紅葉と合わせて、この時期だからこそ見られる貴重な公開もお見逃しなく。寺宝を収蔵

する霊宝館では秋の特別公開が開催されています。そして特に注目なのが、国宝の五重塔の特別開扉。天暦 5 年 (951 年) に完成した京都府下最古の木造建築で、内部には日本密教絵画の源流とも言われる壁画が残ります。1000 年以上の時を超えて守り継がれた塔の荘厳さを、ぜひ間近で感じてみてください。

醍醐寺

京都府京都市伏見区醍醐東大路町 22

開催日程など詳しくは
ホームページでご確認ください



2025年8月 会員の動き

入会者

クラブ名	氏名	職業分類
京都	木原 康伸	広告企画、取扱
京都	野間 晃	事務用品販売
京都	岡田 淳	損害保険
京都	柳川 隆一	総合建設
京都伏見	三浦 寛	ホテル
京都東	矢里 仁志	財務コンサルティング
宇治	牧野 伸哉	家電販売
宇治	藤井 武雄	茶製造販売
草津	上田 康之	不動産業
長浜	中林 英俊	商業銀行

クラブ名	氏名	職業分類
長浜北	北村 友二	信用金庫
大津	馬欠場 善則	保険代理店
大津	湯川 雅史	公共放送
大津西	森 圭史	建築業
福井東	小林 宏崇	工場リフォーム業
武生	泰園澄 一法	福祉コンサルタント
敦賀	西井 洋	原子力安全研究
桜井	橋本 竜也	造園
桜井	山本 一彦	鞆製作販売
やまとまほろば	井上 卓朗	神道

退会者

クラブ名	氏名
京都南	片岡 宏二
京都南	安川 淳史
びわ湖八幡	谷 芳雄
彦根	浅山 禎信
彦根南	青山 悟士
福井北	長尾 弘昭
鯖江	野呂 和夫

ご逝去会員

クラブ名	氏名
京都	千 玄室
宇治	八木 秀之

(順不同・敬称略)

Kyoto Shiga Fukui Nara